

【旧約聖書日課】コヘレトの言葉 3章1～13節

<sup>1</sup> 何事にも時があり

天の下の出来事にはすべて定められた時がある。

<sup>2</sup> 生まれる時、死ぬ時

植える時、植えたものを抜く時

<sup>3</sup> 殺す時、癒す時

破壊する時、建てる時

<sup>4</sup> 泣く時、笑う時

嘆く時、踊る時

<sup>5</sup> 石を放つ時、石を集める時

抱擁の時、抱擁を遠ざける時

<sup>6</sup> 求める時、失う時

保つ時、放つ時

<sup>7</sup> 裂く時、縫う時

黙する時、語る時

<sup>8</sup> 愛する時、憎む時

戦いの時、平和の時。

<sup>9</sup> 人が労苦してみたところで何になる。 <sup>10</sup> わたしは、神が人の子らにお与えになった務めを見極めた。 <sup>11</sup> 神はすべてを時宜にかなうように造り、また、永遠を思う心を人に与えられる。それでもなお、神のなさる業を始めから終りまで見極めることは許されていない。

<sup>12</sup> わたしは知った

人間にとって最も幸福なのは

喜び楽しんで一生を送ることだ、と

<sup>13</sup> 人だれもが飲み食いし

その労苦によって満足するのは

神の賜物だ、と。

【使徒書日課】テサロニケの信徒への手紙二 3章6～13節

<sup>6</sup> 兄弟たち、わたしたちは、わたしたちの主イエス・キリストの名によって命じます。怠惰な生活をして、わたしたちから受けた教えに従わないでいるすべての兄弟を避けなさい。 <sup>7</sup> あなたがた自身、わたしたちにどのように倣えばよいか、よく知っています。わたしたちは、そちらにいたとき、怠惰な生活をしませんでした。 <sup>8</sup> また、だれからもパンをただでもらって食べたりはしませんでした。むしろ、だれにも負担をかけまいと、夜昼大変苦勞して、働き続けたのです。 <sup>9</sup> 援助を受ける権利がわたしたちになかったからではなく、あなたがたがわたしたちに倣うように、身をもって模範を示すためでした。 <sup>10</sup> 実際、あなたがたのもとにいたとき、わたしたちは、「働きたくない者は、食べてはならない」と命じていました。 <sup>11</sup> ところが、聞くところによると、あなたがたの中には怠惰な生活をし、少しも働かず、余計なことをしている者がいるということです。 <sup>12</sup> そのような者たちに、わたしたちは主イエス・キリストに結ばれた者として命じ、勧めます。自分で得たパンを食べるように、落ち着いて仕事をしなさい。 <sup>13</sup> そして、兄弟たち、あなたがたは、たゆまず善いことをしなさい。

## 【福音書日課】マタイによる福音書 20章1～16節

<sup>1</sup>「天の国は次のようにたとえられる。ある家の主人が、ぶどう園で働く労働者を雇うために、夜明けに出かけて行った。<sup>2</sup>主人は、一日につき一デナリオンの約束で、労働者をぶどう園に送った。<sup>3</sup>また、九時ごろ行ってみると、何もしないで広場に立っている人々がいたので、<sup>4</sup>『あなたたちもぶどう園に行きなさい。ふさわしい賃金を払ってやろう。』と言った。<sup>5</sup>それで、その人たちは出かけて行った。主人は、十二時ごろと三時ごろにまた出て行き、同じようにした。<sup>6</sup>五時ごろにも行ってみると、ほかの人々が立っていたので、『なぜ、何もしないで一日中ここに立っているのか』と尋ねると、<sup>7</sup>彼らは、『だれも雇ってくれないのです』と言った。主人は彼らに、『あなたたちもぶどう園に行きなさい。』と言った。<sup>8</sup>夕方になって、ぶどう園の主人は監督に、『労働者たちを呼んで、最後に来た者から始めて、最初に来た者まで順に賃金を払ってやりなさい。』と言った。<sup>9</sup>そこで、五時ごろに雇われた人たちが来て、一デナリオンずつ受け取った。<sup>10</sup>最初に雇われた人たちが来て、もっと多くもらえるだろうと思っていた。しかし、彼らも一デナリオンずつであった。<sup>11</sup>それで、受け取ると、主人に不平を言った。<sup>12</sup>『最後に来たこの連中は、一時間しか働きませんでした。まる一日、暑い中を辛抱して働いたわたしたちと、この連中とを同じ扱いにするとはい。』<sup>13</sup>主人はその一人に答えた。『友よ、あなたに不当なことはしていない。あなたはわたしと一デナリオンの約束をしたではないか。<sup>14</sup>自分の分を受け取って帰りなさい。わたしはこの最後の者にも、あなたと同じように支払ってやりたいのだ。<sup>15</sup>自分のものを自分のしたいようにしては、いけないか。それとも、わたしの気前のよさをねたむのか。』<sup>16</sup>このように、後にいる者が先になり、先にいる者が後になる。」

## 説教「労働と信仰」

### 説教者 水野七星神学生（東京神学大学）

#### 水野 七星（みずの・ななせ）神学生 プロフィール

2003年7月、北海道に生まれる

2014年12月21日、日本基督教団野幌教会にて朴美愛牧師より洗礼を受ける

2022年3月、北海道札幌啓成高等学校を卒業

2022年4月、東京神学大学神学部1年に入学

2022年4月、日本基督教団狛江教会客員

2023年4月、日本基督教団美竹教会出席

2025年4月、日本基督教団代田教会出席

2025年9月、日本基督教団代田教会に転籍

現在、東京神学大学神学部4年生